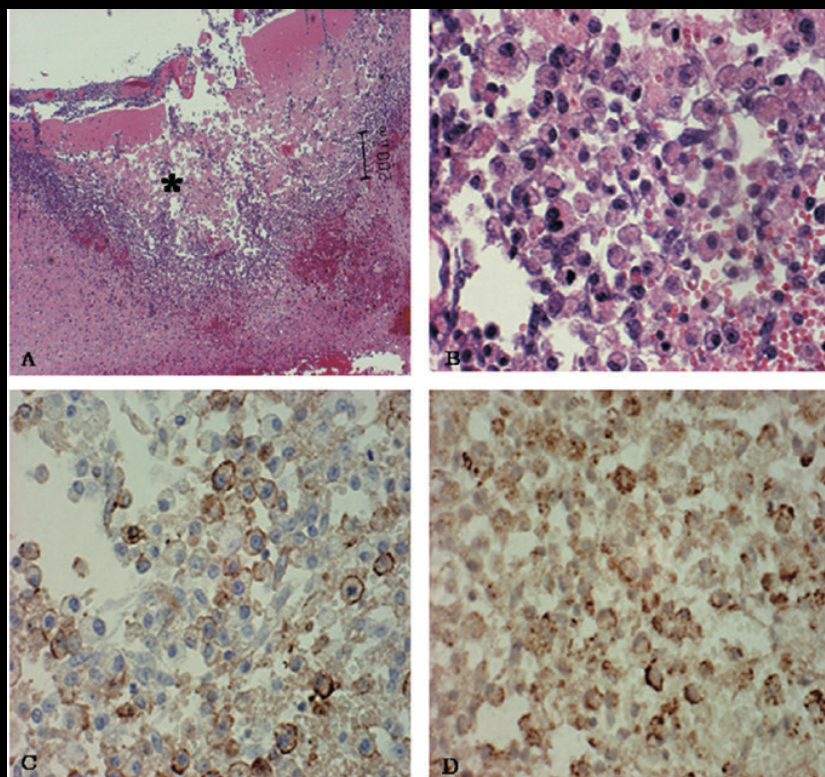


光線力学療法 (PDT-BT)

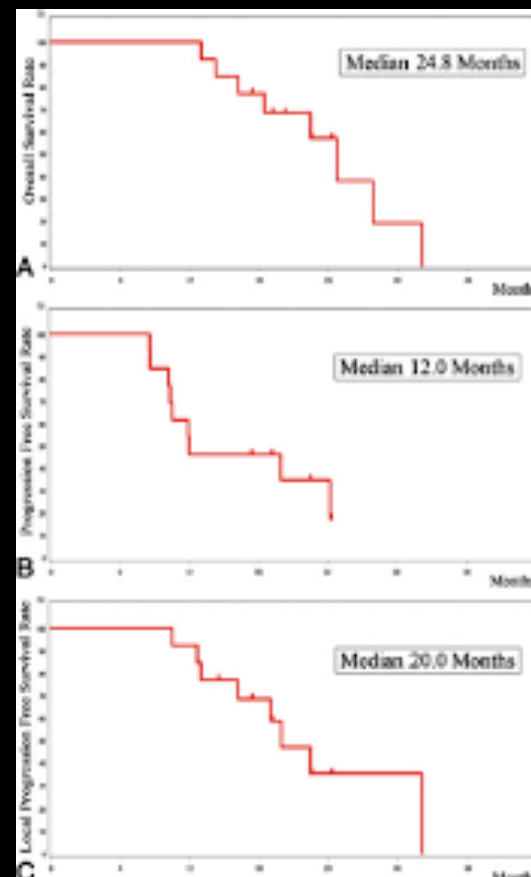
光線力学療法（原発性悪性脳腫瘍に対して PDT-BTレーザー照射）



現時点で兵庫県で導入されているのは神戸大学、関西ろう
さい病院のみで兵庫県立がんセンターも年内導入予定。



レーザー表面照射により、約 2 mm 厚の腫瘍組織のうち 1.5 mm までは組織凝固壊死が、最深部にはアポトーシスが生じた。



A : 初発膠芽腫 13 例の overall survival は 24.8 ヶ月と、標準治療を大きく凌駕。
 B : Progression free survival(PFS)は 12 ヶ月。標準治療では 6.9 ヶ月。
 C : レーザー照射局所の PFS は 20 ヶ月と非常に良好な局所コントロールを得た。

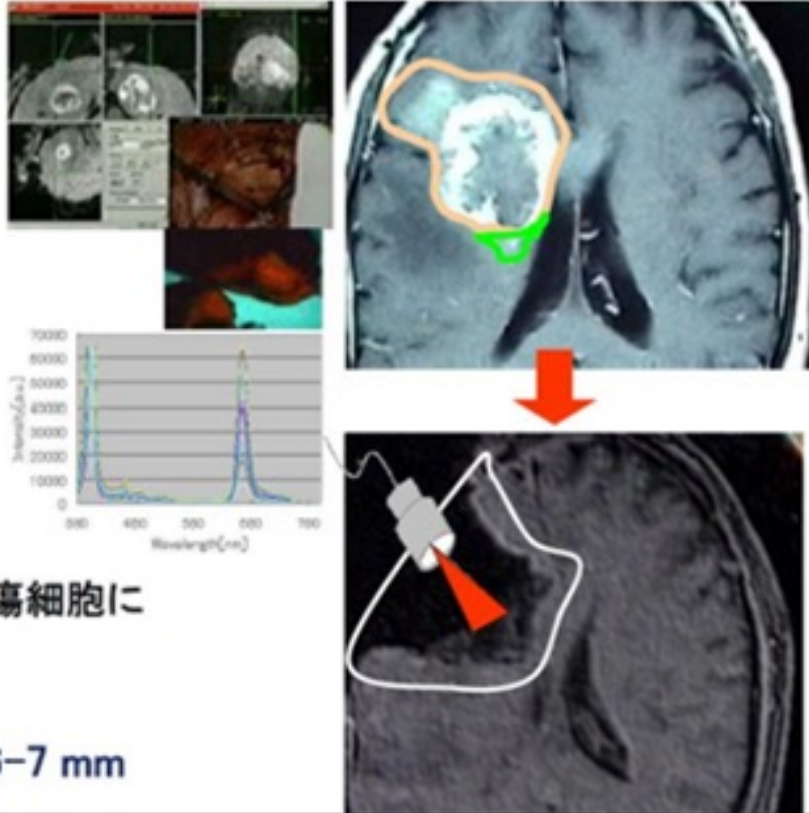
最新治療（手術＋術中光線力学療法）

① 術中ナビゲーション、
機能モニタリング、
覚醒下手術などで
腫瘍の95%以上を摘出

② 光線力学診断にて
腫瘍を肉眼的に
100%摘出

③ 光線力学療法にて
border zone 内の残存腫瘍細胞に
細胞死を誘導する

レーザーの到達深度 6-7 mm



【PDT施行者条件】

学会資格：日本脳神経外科学会会員である医師

研修義務：日本脳神経外科光線力学学会ガイドライン委員会が主催する、本レーザー装置によるPDTについての研修プログラムを受講していること

手術経験：悪性脳腫瘍手術の十分な経験を有すること